

仕 様 書

1 事業名

令和8年度 「広域連携観光戦略策定、KGIKPI 設定 」事業

2 事業の目的

一般社団法人 関東広域観光機構（以下「機構」という）は関東広域エリアに連なる多様性に富んだ地域資源への訪日外国人旅行者の戦略的誘客を実現するため、広域連携観光戦略（正式版）の策定を進めつつ、「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」改正に向けて新たな KGI・KPI の設定・分析の準備を進め、運用開始に繋げる。

3 業務対象連携先

一般社団法人 関東広域観光機構内エリア（福島県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 新潟県 山梨県 長野県）の都県及び都県 DMO、観光関連団体・企業

4 対象市場 訪日外国人旅行者（全市場）

5 事業内容

「広域連携観光戦略策定、KGIKPI 設定 」事業

①広域観光戦略（正式版）策定のためのデータ分析

②観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」改正に向けての経済波及効果等のデータ収集、新たな KGI・KPI 設定及び分析

* 必須 KPI・KGI

・ KGI①旅行消費額、②経済波及効果

・ KPI①1人当たり旅行消費額、②延べ宿泊者数、③来訪者満足度

そのほか、以下を検討

・ 地方訪問率（東京から1都10県への訪問率）

・ 実行計画を踏まえマネジメントの観点から観光地域づくり法人自らが設定する KPI

・ 実行計画を踏まえマーケティングの観点から観光地域づくり法人自らが設定する KPI

③上記達成のための確認会議、報告会議等の実施

6 効果測定及び成果物

(1) 効果測定

- ① アウトプット
 - ・データの分析
- ② アウトカム
 - ・DMO 登録要件見直し対応準備業務

(2) 成果物の作成

- ① 事業報告書及び効果測定書
- ② 概要書 (①をコンパクトにまとめたもの)
 - ①、②とも電子データでの提出

(3) 提出期限

令和9年2月26日(金)

(4) 提出先

一般社団法人 関東広域観光機構

7 その他留意事項

- ①事業において、運営、管理及び庶務を行うこと。
- ②機構と連絡調整等を密に行うこと。
- ③本事業は機構及び連携先と十分な協議を行いながら事業を進めることとし、作業内容及び本仕様書の内容に疑義が生じたときには、その都度機構と協議の上、その指示に従い作業を進めること。また、機構は、作業期間中いつでもその作業状況の報告を求めることができるものとする。なお、本仕様書に定めのない事項については、その都度協議の上対応するものとする。
- ④本事業に関する事項について、機密を厳守し、無断で他に漏らしたり、利用したりしてはならない。
- ⑤本業務で取り扱うこととなる個人情報の管理は適正に実施すること。
- ⑥受託事業者は、著作権、特許権、その他日本国又は外国の法令に基づき保護される第三者の権利の対象となっているものを使用する場合、その使用に関する一切の責任を負わなければならない。
- ⑦事業履行の成果について生じた著作権、内容に関する著作権等は、第三者から利用許諾を受けて使用するものを除き、機構に帰属するものとする。

⑧受託事業者は事業を履行するにあたり、第三者に損害を与えたときは、その損害の賠償を行うものとする。

⑨成果物に重大な瑕疵があった場合は、原因者において、回収、修正、再印刷等必要な措置を講じること。

8 企画提案書に盛り込む内容

①事業の内容に関する具体的な企画案

・ 3「業務内容」に記載の項目についての企画提案

②事業実施体制及び作業工程

③法人の概要等

・ 法人の概要（業務実施体制図を含む）

・ 担当者の氏名及び連絡先

・ 国又は地方公共団体等における同様の受注業務実績

④参考見積（概算及び内訳）

・ 提案した企画案実施のために必要な経費（消費税を含む）について、概算額（人件費、交通費、諸経費などの費目毎の内訳）を提示すること。

9 監督職員 一般社団法人 関東広域観光機構 CMO 畑山 博康